

公益社団法人日本中国友好協会

## 2012 年度事業・活動計画

一、日中国交正常化 40 周年を迎える今年は、多彩な記念行事や交流活動を企画しておおいに事業を展開できる 1 年です。日中政府関係も、昨年 12 月下旬に北京で両国政府首脳会談を経て、さらに関係強化がはかられたことは喜ばしいことであります。

二、昨年 3 月の東日本大震災は大きな損害をもたらし、福島原発事故は現在も事態は深刻です。この震災復興と被災地援助を推し進める「日本経済」、その活力強化は中国との貿易や相互投資などの経済往来を切り離して考えることはできず、両国の経済交流もますます活発、拡大化することが予想されます。また、今年の交流のなかに震災を受けた地域への中国からの救援や往来を促進させる動きがみられることは誠に喜ばしいことであり、私たちもその面でサポートしていきたいと考えています。特に、青少年交流を中心に交流事業の場で大震災被災地の復興支援にも取り組みます。

三、5 月の中国貴州省貴陽市での「第 13 回日中友好交流会議」、8 月の北京での「日中友好交流都市中学生卓球交歓大会」の実施で、「地方と地方の交流」や「友好都市の相互交流」の促進に力を注ぎます。昨年 7 月からの「沖縄訪問」査証のように日本政府の査証発給条件緩和が今後も期待でき、多くの中国の方々が日本各地を訪れ、地方での交流の機会もさらに増えることは確実で、私たちもその方面の交流が一層促進されるよう努力をしていきたいと考えます。

四、2 月中旬の日中友好 7 団体会長代表一行の北京訪問、春の中日友好協会訪日代表団の受入れ等を通じて、両国民間団体の相互交流の促進と協調強化をはかり、日中国交正常化 40 周年の交流活動に反映させます。

五、公益法人移行認定を機に、協会の組織を強化させ、既成事業を発展させ新規事業を開発・創設していく必要があります。

6 月 18 日の第 1 回定時総会を良い機会にして、役員・組織を強化・刷新・充実させ、運営・経済力の向上を図る事業を開発、促進できる制確立に取り組みます。

六、日中国交正常化 40 周年を祝い、友好交流の促進に大いに力を注ぎ、原発事故や経済不況等の外的悪条件を乗り越えて、協会の力量を高める一年とするため、「日本と中国」紙の充実をはじめ、組織の整備をはかり、会員の拡大、財政の確立を目ざし、出来得る努力をしていきたいと考えます。

七、このような活動を通じて、全国性と長い歴史をもつ協会の特性を発揚して、一段と期待される機構にしていくよう尽力していきたいと考えます。

## 主な事業・行事について 2012年4月～2013年3月

<2012年>

4月 中日友好協会訪日代表团 東京他

年初に就任する中日友好協会の新会長を団長する約10名の中日友好協会代表団を受け入れ。東京をはじめ全国各地で地元の日中友好協会と交流、会談を実施。

5月24、25日 第13回日中友好交流会議 貴州省貴陽市

貴州省貴陽市にて第13回日中友好交流会議を開催。中日友好協会と協力して日本各地および中国各地の友好協会に呼びかけ多くの感化を得て開催予定。主要議題（テーマ）は「地方と地方との交流の促進」。全体会議、分散会議を行い多くの発言を求め、交流活動に反映させる。

6月18日 第1回定時総会（役員改選） 東京

本総会では役員改選を実施する。公益法人に伴いにらみ、協会事業推進の実行力のある役員体制を確立させる。

7月21日～9月23日 恐竜展：「恐竜王国2012」 会場：幕張メッセ

テレビ朝日等と共催して「大型規模」の恐竜展を開催。中国山東省諸城市で発見・発掘された大型恐竜化石群を中心に、羽毛の痕跡のある恐竜化石などを多数展示。国交正常化40周年を記念する大型事業の一つとして夏休みの児童、学生を中心に多数の参観を図る。

8月16～21日 日中友好交流都市中学生卓球交歓大会 北京市

日中国交正常化20周年から5年ごとに開催してきた日中友好交流都市卓球交歓大会も40周年の今年は第5回となる。今回は「中学生」選手の競技会とし、(財)日本卓球協会、中日友好協会、中国卓球協会と協力して日中双方の友好都市、友好交流都市関係にある自治体にチームの編成と派遣を呼びかけ、100チーム以上参加の大型交流となるよう準備する。

秋 書道展の相互交流

日中両国で盛んな書道展の相互開催や書道界の交流も今年の秋を中心に展開したい。各地でも書道団体と協力して、このような交流の機会を考えていきたい。日中両国の書道交流促進をはかる。

秋 何香凝名品作品展 東京

中国の著名な女流画家で辛亥革命の孫文の片腕とされた廖仲愷の夫人でもある何香凝女史の作品展を東京にて初展示。中国広東省深圳市の何香凝美術館と協力して実施する。今年は何香凝女史逝去 40 周年にあたる。

<2013 年>

1 月 13 日 第 30 回中国語スピーチコンテスト(全国大会) 東京

全国大会は、都道府県日中友好協会主催の中国語スピーチコンテストを勝ち抜いてきた学生や一般社会人の弁士を集め実施。

1 月下旬 日中友好新年会

(NPO) 東京都日中友好協会と共催で開催する。中国大使館、政財界や各種団体、企業をまじえた新年会を開催し、親交を深める。

3 月下旬 日本高校生訪中代表団 100 名の編成派遣

中日友好協会の受入協力で、日本の高校生を 100 名選抜し代表団を編成、3 月下旬から 4 月初めの学校の春休みの期間を利用して 1 週間、中国に派遣し、中国の高校生や青年との交流を中心に日中両国の若者たちの交流を促進させる。

## その他の事業・活動（継続事業を含む）

### 1. 「漢字の由来」展示会の全国展開

中国関係機関の協力を得て、漢字の起源から進化、そして現代までの発展の経過をわかりやすくまとめた運搬に便利な「漢字の由来」展示パネルセットを製作し、全国に貸し出し、開催していきたい。

### 2. 中国各地の植林・緑化事業の促進

砂漠化を防ぐための植林・緑化活動について、日中緑化交流基金の助成金交付等を得て取り組み、進めていく。

### 3. 日中両国の青少年交流を促進・発展させる事業

日中両国の青年、高校生相互招待事業も各地友好協会のご協力を得て本年も実施していきます。事業成功のために中日友好協会、中華全国青年連合会との事業協力関係をより一層強化していく。

### 4. 中国各地へ公費留学生の派遣事業

中国教育部や各大学の協力を得て、日本の大学生や社会人から選抜し、公費留学生20名を選抜して進めていく。

### 5. 会報「日本と中国」の読者拡大の取組

日中間の各種交流事業や、地方協会の活動状況の紹介を基礎に、紙面の質をいっそう向上させて、全国の協会をつなぐ機関紙としての役割を高め、読者の拡大を図っていくよう努める。

### 6. ホームページ・インターネットの積極的な活用

協会事業の紹介や宣伝にホームページを更に積極的に活用していく。

### 7. 「2013年版友好手帳」の編集と発行

日中両国の多くの方々にご愛用いただいている協会製作の「友好手帳」の資料内容や装丁・記載ページの改良・改革を実施し、更に愛される、内容の濃い「友好手帳」を提供できるようにしていく。

以 上